

保護者様

稲沢市立祖父江中学校長
江 壽 浩 央

「本校教育に関するアンケート」の結果について（お知らせ）

残寒の候、保護者の皆様におかれましては、増々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、12月に実施しました「本校教育に関するアンケート」調査では、多数の回答及びご意見・ご要望を賜り、誠にありがとうございました。その結果をまとめましたので、下記のように、ご報告させていただきます。

記

1 設問と回答について

学校教育目標や重点的な取り組みについて、設問を設定しました。同じ評価内容を、生徒は「(自分は) ~している」、保護者は「学校は~している」と質問しています。各質問に「よくあてはまる(そう思う)」「あてはまる(ややそう思う)」「あまりあてはまらない(あまりそう思わない)」「あてはまらない(そう思わない)」の4段階で回答をお願いしました。

また、学校では生徒の「よくあてはまる」「あてはまる」、保護者の「そう思う」「ややそう思う」という肯定的な回答を合わせた割合が、80%を超えることを一つの目安としています。本年度は、生徒・保護者共通設問16問のうち、9問で生徒・保護者ともに80%を超えました。しかし、ともに80%未満が3問あり、生徒への指導を工夫する必要性を感じています。

2 調査の結果について

具体的なアンケートの結果については、次の通りです。

※数値は、生徒の「よくあてはまる(そう思う)」「あてはまる(ややそう思う)」を合わせた割合

具体的な評価内容		生徒(%)	保護者(%)
校訓 「聡明・ 明朗・ 剛健」	1 学習に真剣に取り組む、最後まで集中して学ぶ生徒の育成に努める	91.9	84.2
	2 約束やきまりを守り、責任をもって行動する生徒の育成に努める	94.5	90.3
	3 すすんで挨拶をし、両親や家族・友人に感謝できる生徒の育成に努める	92.9	82.4
	4 友と協力し、助け合って行動できる生徒の育成に努める	94.7	87.1
	5 夢や希望をもった生徒の育成に努める	70.8	68.7
	6 学校行事や各種活動に積極的に取り組み、最後までやりきる生徒の育成に努める	82.6	86.0
授業 改善	7 生徒の興味・関心を揺さぶり、考えを引き出す「わかる」授業実践に取り組む	90.7	68.7
	8 生徒が安心して「わかりません」と言えるような雰囲気授業に取り組む	59.9	55.0
	9 議論を活性化するなど、主体的・対話的で深い学びをめざした授業改善に取り組む	73.5	69.8
おみ そあ じ	10 思いやりの心を育てること	90.9	79.1
	11 身だしなみを整えさせること	89.7	89.6
	12 掃除に真剣に取り組ませること	89.3	85.3
	13 誰にでもしっかり挨拶をすること	90.5	81.7
学 習 ・ 生 活 環 境	14 常に時間を守って生活すること	93.9	71.9
	15 祖父江中学校は学習や部活動をするための環境が整っている 学校は、学習に適した気持ちのよい環境づくりに努めている	87.5	92.8
開 か れ た 学 校 づ く り	16 いじめにあたり、自分に悩みがあったりしたとき、すぐに相談することができる 学校は、生徒の話や悩みをよく聞くように努めている	75.9	82.7
	17 祖父江中学校が好きだ	81.4	
	18 多くの先生は私が頑張っていることを認めてくれる	77.9	
	19 生徒の健全育成のために、学校・PTA・保護者・地域及び学校運営協議会など関係 機関との連携が図られること		82.0
開 か れ た 学 校 づ く り	20 教育活動の中に地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かすこと		70.9
	21 ホームページや学年便りなどを活用し、学校の教育活動の情報を発信すること		80.2
	22 キャリア教育や地域学習、奉仕活動などを通し、地域に愛着をもった生徒の育成に 取り組むこと		71.9

3 結果の考察

○ 校訓（聡明・明朗・剛健）の項目

「2 約束や決まりを守り、責任をもって行動する生徒の育成に努める」について、生徒・保護者ともに高い評価です。生徒が責任ある行動をしようとしている様子がうかがえます。「5 夢や希望をもった生徒の育成に努める」では、生徒・保護者ともに 80%未満となりました。コロナ禍で行事が変更されたり、生活に様々な制約があったりすることが要因であると思われます。

コロナ禍で前例のない教育活動の中、保護者の皆様のご理解を得て、これまで無事に教育活動ができました。生徒たちが未来に希望をもって成長することができるよう、感染対策をとりながら、制約のある中でも、さらに工夫を凝らして充実した学校教育を行う努力をしていきます。"

○ 「授業改善」の項目

本年度は、新学習指導要領の実施に伴い、生徒の主体的な学びを基盤とした思考力・判断力の育成や知識・技能の習得を目指した授業づくりを行いました。その中で、「生徒が安心して「わかりません」と言えるような雰囲気のある授業に取り組む」「議論を活性化するなど、主体的・対話的で深い学びをめざした授業改善に取り組む」について、生徒・保護者ともに低い評価となりました。

生徒の評価から、「わかる」と感じられる授業になりつつあると思われます。生徒の実態を把握し、深い学びにつながる手だての工夫や、わからないことを声にしやすい授業の雰囲気づくりに努めます。

○ 「おみそあじ」の項目

本校の重点指導項目を「おみそあじ」として生徒に周知しながら取り組んでいます。「お：思いやり」「み：身だしなみ」「そ：掃除」「あ：挨拶」「じ：時間を守る」の 5 項目です。どの項目にも生徒は高い自己評価をしているものの、特に「10 思いやりの心を育てること」「14 常に時間を守って生活すること」については、保護者の評価は 80%未満となりました。思春期である中学生は、心身ともに大きく成長しようとしている時期です。個人として、集団として互いに思いやり、尊重しあって生活するための基本的な生活習慣を、今後も継続して指導していきます。

○ 「学習・生活環境」の項目

学校環境について、保護者から高い評価をいただいているものの、「16 いじめにあったり、自分に悩みがあったりしたとき、すぐに相談することができる」「18 多くの先生は私が頑張っていることを認めてくれる」で生徒の評価が 80%未満でした。生徒と教職員とのコミュニケーションがまだ十分でないと感じられます。コロナ禍でマスクをし、距離をとる生活ではありますが、授業や部活動、放課などのコミュニケーションをさらに大切にし、生徒と教職員の心の距離が広がらないように努めます。

○ 「開かれた学校づくり」の項目

生徒の健全な育成のためには、保護者の皆様をはじめ、地域の方々と連携して学校づくりをしていくことが重要だと考えています。昨年度に引き続き、本年度も「2 年職場体験」「1 年地域学習（祖父江をみつめて）」「わかば活動（福祉ボランティア）」「保育実習」など、地域の方々とかわる学習や行事を、訪問する対面式で行うことができませんでした。中には、学習のねらいが達成されるよう、皆様にご協力いただきながら形を変えて工夫して行ったものもありますが、保護者や地域の方々へ十分に情報発信することが不足していたと思われます。学校の日々の教育活動をはじめ様々な取組について、お便りやホームページで積極的に発信し、皆様にご理解いただくとともに、保護者・地域の皆様に信頼される開かれた学校づくりに努めます。

○ ご意見・ご要望について（自由記述欄）

貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいたご意見を今後の学校運営に生かしてまいります。

今後とも、子どもたちの生きる力をはぐくむ教育活動に取り組み、「開かれた学校」「信頼される学校」づくりに努めます。引き続きご理解、ご協力をよろしく申し上げます。"